



西内野 コミュニティだより

37号

発行／西内野コミュニティ協議会 総務・広報部

地域で力を合わせて助け合い

成人の日を前に3年ぶりの大雪に見まれ、交通もマヒし、私たちの生活にも大きな影響が出ました。市の除雪作業も追いつかない中、西内野の地域では、通学路・高齢者宅などの除雪を、各自治・町内会で力を合わせ助け合う姿がたくさん見られました。



10日26名、11日11名、町内三役・子ども会・自警部・町内有志などの協力で、町内～小学校玄関までの通学路の除雪を行いました。多数のご協力に心より感謝いたします。 **新中浜町内会**

役員や有志で、ゴミステーション・通学路・人手の必要な道路を除雪しました。 **五十嵐中島自治会**

グリーンベルト上に大量の雪が積み上げられ、通学に危険性があることから、役員などで除雪しました。坂道が多く、積雪の集雪場所がなく、苦慮しております。 **内野平和台自治会**

平成29年度の大雪での経験をきっかけに、除雪機の導入と、除雪隊を結成し、除雪に備えていました。そのおかげもあり、スピード感を持って対応する事ができました。普段から班内で協力し合える環境づくりが非常時に力を発揮すると感じました。 **内野西が丘自治会**

除雪お助け隊を結成して、事前に依頼のあった世帯と民生委員から依頼のあった高齢者一人世帯の道路から玄関までを除雪しました。 **広通江団地自治会**

町内はすべて農家組合員でのトラクター除雪で対応、通学道路は自治会と協力しています。集雪場には困っています。 **内野上新町自治会**

西内野地区 自 主 防 災 訓 練 11月3日(火・祝) 防災・防犯部長 早川 雄一

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大規模なイベントの多くが見送られましたが、いつ発生するか分からない災害に対してその備えが大切です。

このため、今年は時間差を設けて密になることを極力さけながら、自主防災訓練を実施しました。

西内野地区10自治・町内会から総勢154名が参加し、うち防災士7名も対応しました。

午前、防火連女性部によるアルファ化米炊き出し訓練を女性防災士2名も加わって手際よく行いました。

午後は、大きな地震が発生したことを想定して、各自治・町内会ごとに一時避難場所に集合後、「のぼり旗」を先頭に西コミセンまで自治会長と女性部員が誘導しました。避難に際しては、本番さながらに全員が「非常持ち出し袋」と「避難者カード」を携行し、西コミセン到着後に各自治会長は「避難者カード」を集め、避難者数及び異状者の有無を報告しました。

駐車場では新潟県の起震車「なまず号」が待機し、4名ずつ起震車に乗り、震度6強の大地震を体験しました。

多くの児童も乗車し、突然の大地震に襲われると何もできないことを身をもって学習できたと思います。今後、地震に対する備えのきっかけにしたいと思います。

和室では、防災グッズとして非常持ち出し品やコミセン備蓄品などを展示し、胸骨圧迫のアニメも上映しました。



▲ 起震車体験の様子



新潟市西区地域福祉計画・地域福祉活動計画

「いきいき西区ささえあいプラン」

～西内野地域版～
(令和3年～令和8年)

このプランは、住民参加による手作りの地域福祉を具体化するため、社会福祉法の規定する計画としてコミ協単位で作成されました。

当コミ協ではプラン推進委員会を中心に16人の住民が参加して策定され、令和2年12月の役員会で報告されました。今後6年間の私たちの地域づくりの指針を年度の最終号で広報します。

情報の共有と協働、お互い様のささえあいをキーワードに、目標に届く活動を展開したいものです。



地域の特色

古くからの住宅地とJR内野西が丘駅周辺の新興住宅地が共存している。農業も盛んだが、サラリーマンや公務員など住民の職業は多岐にわたる。地域には市立幼稚園や県立高校、近隣に新潟大学があり文教的な地域である。病院・スーパーが多く、交通の便が良い。一方、自然も豊かで米、スイカ、メロン、長ネギ、大根などの栽培が盛んである。

この地区の 良いところ



- ・各種ボランティア活動の参加率が高く、活動を通じて顔がわかる関係ができています。
- ・学校と地域コミュニティとの連携ができており、地域の方の学校行事の参加率が高い。
- ・西内野小学校の児童数が増えている。
- ・年代に応じた健康に対する取り組みが盛ん。
- ・地域で子育てするという意識が高い。
- ・地域住民の結びつきが強い。

この地区の 課題



- ・地域住民の高齢化（高齢者支援・空き家対策）
- ・地域づくりに若い世代をはじめ新しい人の関わりが不足している。
- ・諸活動の周知方法に対する形骸化

地域で 行われている 主な取り組み

私たちは、こんな活動をしています！

【子育て支援事業】

こぼとの会 毎週木曜日西コミセンで未就園児の親子の居場所づくり

【自主防災訓練】

小学校区全体の自治・町内会で1年に1度行う。

【盆おどり大会】

7月末、西内野の中心部で開催。自治・町内会やPTAが中心となって夜店も催し、毎年地域住民が楽しみにしている行事。

【高齢者支援活動】

高齢者の顔の見える関係づくり支援、友愛訪問活動（民生委員、自治・町内会）

【もちつき大会】

11月末、西内野小学校体育館で行う。道具も材料も地元という手作りのもちつき大会。世代間交流、地域交流、伝統文化の継承などを目的とする。

【小・中学校での活発なボランティア活動】

西内野小学校は、平成26年度「優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣賞受賞。今では、年間のべ3,000人～5,000人の学校支援ボランティア活動がある。内野中学校も、のべ2,000人を超える。

【住民による生活支援】

ゴミ出し支援、雪かき、草刈り、お助け隊、支援隊

【顔の見える関係づくり】

地域の茶の間、西内野食堂（地域食堂）、盆踊り練習会、星空観測会、子どもふれあいスクール事業
地引き綱・宝さがし大会、子どもみこし



こんなまちにしたい

目標・目指す姿

世代を超えて支えあう 安心・住みよい地域づくり ～ ひとりひとりが輝く西内野 ～

具体的な取り組み

目標を達成するために

1. 誰もが困った時に助けあえる地域づくり

- ①高齢者指導員の育成 (のっぺ、みそづくり、囲碁など)
- ②地域マップの作成 (民生委員・コミ協・自治会協働) →現状の可視化と情報共有
- ③見守り活動の強化…友愛訪問・自治会内での見守り活動→民生委員だけでなく、地域の多くの方から見守り活動をしてもらう
- ④住民による生活支援の活発化 (ゴミ出し支援、雪かき、草刈り、お助け隊、支援隊など)
- ⑤認知症をはじめ、困った感のある人の見守り活動を広げる
- ⑥地域・学校・保護者で課題の共有
- ⑦各施設・イベントのバリアフリーの確認 (ハード・ソフト両面)

2. 地域活動に参加しやすい場づくり

- ①誰もがつながれる場づくり、機会づくり
- ②地域活動、みんなで参加・みんなで運営 (やれる人が、やれるときに、やれることを)
- ③西内野地域のホームページ開設 (情報のプラットフォーム化)
 - ・各種イベント情報
 - ・イベント時のバリアフリー情報
 - ・ツイッターなどSNSと連動した情報提供
 - ・空地、空き家の情報

3. 新しい人材発掘・地域リーダーづくり

- ①イベント、コミ協行事、自治会、PTAなど地域内のあらゆる活動での人材情報の共有 (人材発掘について常に意識し、意識づける場づくり)
- ②各活動に対する在任期間の条件づけ (後継者を育成するしくみづくり)
- ③各地域リーダーによるSNSグループの形成及び情報共有のしくみづくり



あの人
この人



内野西新町自治会
渡辺 和良

地域に貢献

一昨年42年間勤務した消防署を退職後に、同じ職場に短時間勤務で再任用職員として採用、責任が軽くなり災害現場に行くこともなく、また一昼夜交替制勤務から毎日勤務に代わり、平穏な日々を過ごしていました。

そんなある日、地域の方から私に自治会の仕事をやって欲しかったとの言葉を聞いて、一念発起し昨年より自治会長になりました。

現職のときは人脈と資器材を使って業務を行って来ましたが、私はこの地域での人脈は多くはありませんでした。約一年経って地域の皆さんの顔が分かって来て、何を行えば喜んでもらえるか、職場で得た知識・経験をどうやって自治会内に生かせるのかを相談する相手も出来ました。個人的には地域内の多くの皆さんに参加して頂きな

がらの自治会運営が目標です。退職後に自治会活動を行うのではなく、在職中でも、就労延長でも活動できる仕組みづくりが必要と自身の定年延長就労で感じました。今後の自治会運営について、コミ協の皆さんの話を参考に進めます。

また、退職時に頂いた防災士の資格を生かす為にも、先輩防災士から多くのことを学んでいきます。

コロナ禍という未曾有の危機の中でも、災害が起こらないとは限りません。あと3年は震度5弱以上の地震があれば職場に参集しなければなりません、高齢化が進むこの地域の避難所運営のノウハウを学んで、いざという時に役立てて行く決意です。

住みよい郷土推進協議会

会長表彰

平和台第七団地自治会

この度、平和台第七団地が優良団体ということで表彰していただきました。

これも、歴代の会長をはじめ、理事の皆さん、そして住人の皆様のお力と思えます。毎月の清掃活動はもちろんの事、気づいた事があれば気軽に相談していただき、本当に気持ちの良い自治体だなと感じます。

ひとつの形として表彰状を頂けたことは、皆さんの今後の活力にも繋がることと思えます。ありがとうございました。

会長 高橋 里加



西内野のこどもたち

第51回ジュニア美術展覧会 優秀賞受賞

西内野小学校3年 宮本美実子



「私が絵でがんばったところは、きれいに色をぬるところです。かげを周りよりこくしたり、あわい色をぬったりしました。賞をもらえて嬉しいです。上手くかけてよかったと思いました。」



「楽しいな お泊まり会」

にいがた防災メールに登録しませんか？

お住まいの地域の大雪や夜間通行止め、イノシシの出没などの情報が新潟市より配信されます。

登録など詳しくは、新潟市ホームページにいがた防災メールをご覧ください。 QRコードを読み込んでください。▶



にいがた防災メールとは？

避難情報など、災害に関して緊急を要する情報をメールでお知らせします。全市域に関するメールのほか、ご希望により、自宅や職場などがある区に関するメールのみを受け取ることも可能です。

編集後記

明けましておめでとうございます

昨年は新型コロナウイルス（以下、「コロナ」という）で世界中が振り回され、各自治体行事のほとんどが中止となり、我々の経験した事のない緊急事態でした。しかし、コロナが急速に死滅することなどは考えられません。今年は、いかに上手に付き合っていくかが課題だと思われます。怖がって自宅にこもり、コロナの終息を待つのでは意味がなく、結果的にコロナに負けた事になるのではないのでしょうか。各自しっかりとコロナ対策をし、少しずつ各行事に対応し、皆で協力し助け合い、明るい未来に向かって進みたいものです。

大河原 弘

